



2026年8月号 (No.40)

多気町立図書館だより

TEL:0598-38-1133 (多気図書館)

TEL:0598-49-4500 (勢和図書館)

<https://www.town.taki.mie.jp/library/index.html>



夏の夜空を見上げてみませんか



『日本で一番すてきな星空ガイド』
藤秀彦:著 エクスナレッジ (291p)

日本各地から見る
素敵な星空の
数々。

廃部す前の天文部に
入部したえるも。変わり
者の先輩に星について
いろいろ教わり...



『セントエルモの光 久閑野高校天文部の、春と夏』
『アンドロメダの光 久閑野高校天文部の、秋と冬』
天川栄人:著 講談社 (913p)

多気図書館

8月のカレンダー

☐: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
おはなし会 10:30~						1 おはなし会
2	3	4	5	6	7	8 おはなし ほけっと
9 陶芸教室	10	11	12	13	14 おはなし おもちゃ	15
16	17	18	19	20	21 赤ちゃん おはなし 会	22 おはなし ほけっと おんがく会
23 30	24 31	25	26	27	28 整理日	29

※陶芸教室とおんがく会是要申込

勢和図書館

8月のカレンダー

☐: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
おはなし会 10:30~						1
2	3	4	5 おはなし会 (0歳)	6	7	8 おはなし会
9 ほんと カフェ	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19 おはなし会 (1~3歳)	20	21	22 おはなし会
23 30	24 31 整理日	25	26	27	28	29

ブックスタート (おひさま) 8/21 (金) 10:00~

~ イベント 紹介 ~ 詳しくはチラシをご覧ください!

- **ほんとカフェ&夏のおたのしみ**
8/9 (日) 11時~16時 カフェは13時~
11時~おはなしゆりかご 夏のおはなし会
13時30分~Sweet Roseワークショップ ※要申込
コラボ: チムニーカフェさん コーヒー: 金川珈琲さん
- **音読講座~健康寿命、延ばします**
8/20 (木) 10時~ ※要申込 申込受付 8/5 (水)~
- **勢和中学校吹奏楽部サマーコンサート**
8/23 (日) 13時30分~

FB・Insta → 「多気町立勢和図書館」

か「seiwilib」で検索



8月のおすすめ本



『花ばあば』 クォン・ユンドク: 絵/文 ころから (210.7p)

本書は、絵本作家・田島征三さんらが参加した日・中・韓平和絵本の作品の一つとして描かれ、2010年に韓国で出版されました。そして多くの人の尽力により、2018年日本での出版が実現しました。生まれた国や立場が違って、同じ花を見てきれいだと思うように、その苦しみを想像し、痛みを分かち合うことはできるはず。いま、大人にこそ読んでほしい絵本です。

『カッパのいない川で子どもは育つか 「水辺」が心の底力を呼び覚ます』

山根 和明: 著 つり人社 (379.3p)

みなさんが住む近くの川に今も河童はいますか? 昔は川には河童がいて、自然の中での遊びの楽しさや危険を教えてくれたそうです。危険な事故と隣り合わせの部分もありますが、自然は子どもたちの成長に大きな手助けをしてくれます。今年の夏、子どもたちはどんな成長を見せてくれるのでしょうか。



『くらべてわかる動物の痕跡』 安田 守・阿部 浩志: 写真・文

山と溪谷社 (481.7p)

身近な環境で出会える哺乳類と鳥類の痕跡について、「似た痕跡をくらべる」と「種ごとに痕跡をくらべる」の二つの探し方を紹介。フルカラーで見やすく、痕跡の写真は倍率が表記されていて実際のサイズもわかりやすい! あなたが見つけたその痕跡の又しはだれ!?

『音楽の見える瞬間』 鈴木 款: 著 アルテスパブリッシング (767.4p)

音楽は音が聞こえる人たちだけのもの? 決してそんなことはありません! 歌をうたう「声隊」と手歌を表現する「サイン隊」で構成するホワイトハンドコーラス。そこに参加する子どもたちは、自分たちで表現を考えたりイキイキと活動をしています。そしてついには日本を飛び出し、国連ウィーン事務局の会場である「第九」を披露することに!



『おはなしのとき』 朝比奈あすか: 著 双葉社 (F913.6p)

詐欺の電話で大金をだまし取られてしまった、79歳の時子。固定電話解約までのわずかな期間に、寂しい思いをしている人々の話し相手になる「おはなし電話」の開設を思いつく。子どもや孫、友だちと関わり、おはなし電話の人々に寄り添いながら話をする中で、時子自身にも変化が…。直接でも電話でも、人とのつながりってやっぱりいいもの。そう感じる一冊です。

『裸の山』 督永 忠子: 著 合同出版 (F913.6p)

パキスタンのナンガパルバット (標高8126m) を目指した21歳の青年が経験する、イスラムの暮らし、出会った人々。現地パキスタンの言葉で「裸の山」を意味するナンガパルバット。若者は何を感じ、何を思い、何を考えるのか……。著者が50年暮らしたパキスタンでの経験をもとに描かれています。



『木は語る 平和への願いを伝える被爆樹木たち A-bombed Trees』
杉原梨江子: 写真・文 大空出版 (Eキ)

この先70年は草木が生えないといわれたその土地の木から、原爆投下の翌年、芽が顔を出しました。電線が走り、傾き、うねりながら被爆樹木は今もたくましく成長しています。私たちにあの日の出来事を忘れないで。と知らせてくれています。